

仕事を楽しめる人 F i l e . 1 0 : 安田 次男さん (船用マイスター)



◆船用マイスター安田さんの仕事ぶり

安田さんは、35年前に福島県の工業高校を卒業して以来、今日まで新倉工業で一途に働く、生粋の船用マイスターです。

(※船用：船舶に使用する製品、部品)

安田さんは、幼少の頃からものづくりに興味を持っていました。

それは、大工をしていたお父さんの影響だったようです。

古くなった自宅の土間に床を張り、あっという間にリフォームしてしまった

お父さんの仕事ぶりを見て、ものづくりって面白いなと

安田さんは、子どもながらに興味をいだいたのです。

このような思いを持っていた安田さんは、

迷うことなく工業高校に進学し、担任の先生の紹介から

新倉工業に入社しました。

安田さんに新人の頃どんな思いを抱きながら仕事に取り組んだのかと伺いました。

安田さんは、

「先輩に負けたくない」

「先輩に早く追いつきたい」

という思いを持ち、必死に作業をしたそうです。

しかし、先輩との差は歴然で、なかなか縮められませんでした。

先輩が1時間で完成させる工程を自分が担当すると、

4時間から8時間かかりました。

原因は、段取りが取れていないことと、でたらめな作業手順でした。

先輩に「こうやるんだよ」と言われた時には、理解できたつもりでも、いざ作業をしてみると、できない。

先輩から何回教えてもらっても、なかなかできるようになりません。

しかし、「先輩に負けたくない」「先輩に早く追いつきたい」という安田さんの思いは、変わりませんでした。

それから、35年の時が経ち、安田さんの数々の功績が讃えられ、船用マイスターの認定を受けました。

プロフェッショナルという称号が相応しい安田さんに、

どんなときにやり甲斐を感じるのかと尋ねると、

「品質基準を満たした製品を作るのは当たり前だし、何でしょうね」

「そうですねえ～、どんなときかなあ～」

と、しばらく思いを巡らせ、安田さんが出した答えは、

「難しいと思われた納期をクリアして、製品を出荷できたときですね」

と答えられました。

安田さんは、断言します。

「営業の約束は、会社の約束」だと。

「営業がお客様とした約束を守れなかったら、会社の信用が失われます」

「信用がなくなれば、仕事もこなくなり、我々も生活ができなくなります」

「だから、どんなに難しい納期で営業が仕事を受けてきても

『できるわけねえだろう』とは、絶対に言いません」

「できる方法を考えるのが、私たちの使命なんです」

安田さんが発したこられる言葉には、責任感がみなぎり、

仕事への誇りが満ちあふれていました。

安田さんは、インタビューを

「平堀さん、苦勞してやり遂げた仕事ほど、楽しいものですよね」

という一言で締めくくりました。

.....
船用マイスターの認定徽章



◆安田さんが大切にしているキーワード

営業の約束は、会社の約束

理由は、本文に記載した通りです。

◆安田さんのコツコツ（継続していること）

入社時の工場巡回

朝、工場を巡回して、製品の仕掛け状況、在庫数を確認し

1日の作業手順を考えます。

◆安田さんのパワー〇〇

家族との食事

2年前から単身で福島から新工場の御殿場に赴任したので、

帰省して家族と食べる食事が、最高の場になっています。

◆平堀が感じ取った安田さんの向上心と柔軟性

安田さんは、12月に誕生日を迎えると、54歳になります。

一般的には、年齢を重ねると、頭が硬くなり、

自己変革を避けるようになると言われていますが、

安田さんには、この一般論はまったく当てはまりません。

安田さんは、私が講師を務めるリーダー研修、ビジネス基礎研修を

受講していますが、70名近い参加の中でも、群を抜いて積極的です。

安田さんは話下手で、一見すると目立ちません。

ですから、外見の印象からは、積極的であるとは捉えにくいのですが、

つき合いを重ねていくと、安田さんの本物の積極さに目を見張ります。

安田さんの積極さを一言で表すと、

『徹底する力』

と置き換えられます。

例えば、

御殿場工場の社員間の相互理解を高めるために、

個人のプロフィール（フルネーム、誕生日、趣味など）をお互いに確認しあい、
規定のフォーマットに記入するという課題を設定したことがありました。

この課題に、真剣に取り組んでもらうために、私は、

ヒアリングした各人のプロフィールを書き出すテストをすることにしました。

当時のヒアリング対象者数は、約50名。

目的は、相互理解ですので、お昼休みを利用して、

プロフィールに関する話し合いを、一人ひとりが行なってくれればいいと、私は考えていました。

ですから、語弊のある表現になりますが、テストの点数はどうでもよかったのですが、安田さんは、驚くことに、個人のプロフィールの書き取りテストで満点を取ってしまいました。

“齋藤”さんの苗字を、“斉藤”と書いても不可とするくらい、テストの採点は極めて厳格で、全員のプロフィールを覚えるのは、至難の業です。安田さんは、この事例のように、やるからには、当然の如く完璧を目指すのです。

今、安田さんは、後進の育成に取り組んでいます。

安田さんは、自分がこれかで培ってきた経験を、若手に、一方的には押しつけません。発展途上の若手の考えややり方に、素直に耳を傾けます。

「そういう方法もあるんだね」

「それもいいけど、こういうやり方もあるんじゃない」

という流れで、話をしています。

安田さんは、人材育成の方法論としてこのような姿勢で会話を重ねているのですが、この事例から、安田さんのものづくりのプロの顔も垣間見られます。

それは、

「ものづくり方は、一通りではないので。若手と話をすると、

『へっ。そんなやり方もあるんだ』と思うことが度々あるんですよ」

という、安田さんの一言から感じ取られました。

何歳になっても、ものづくりに意欲的で新しいことを取り込む柔軟性にあふれている

安田さんは、我々ビジネスパーソンの目標といっても過言ではありません。

◆安田次男さんのプロフィール

職業： 船用マイスター（製造、加工、組み立て）

所属： 新倉工業株式会社 (<http://www.niikura.co.jp/>)

◆船用マイスターとは

船用業界では人材の確保・養成問題がクローズアップされています。

社団法人日本船用工業会では、優秀な技能者の長年にわたる研鑽の努力を讃え、

その技能を後進に伝承するための仕組み作りの一助として、

会員企業の優秀な熟練技能者を「船用マイスター」として認定する制度を創設しました。

※社団法人日本船用工業会のホームページより抜粋

◆船用マイスターに求められる能力

技術力：ものづくりの技能（製造、加工、組み立て）

粘り強さ：こつこつと作業を積み上げる力

責任感：約束は、何が何でも守り切る熱い思い

好奇心：製造した製品の用途、使用環境を知ろうとする気持ち

柔軟性：仕事に拘りはあるものの、他者のやり方や新しい技法を取り入れる若々しさ